

ファーストリテイリンググループ 生産の現状と今後の展開

永井 弘

株式会社ファーストリテイリング 執行役員 生産本部長



合併会社設立の目的

生産体制の強化

- バングラデシュでの生産体制強化を目指し、お取引先3社が設立する合併会社に10%の出資を行う
- 当該合併会社の子会社(出資先会社)として縫製・生地・紡績の工場を運営する会社を設立する

ファーストリテイリングのグローバル化

- 世界中で商売をする
そのために最適地で生産する
- グローバルパートナーというべき良い企業と
世界中で協業する
- 将来的に、全生産量の1/3を
中国以外にシフトする

有力パートナー企業のグローバル化を支援

- ユニクロの高品質を支えているのは有力な
パートナー企業の皆様
- パートナー企業の皆様にとっても、グローバ
ル化は重要な経営課題
- パートナー企業のグローバル化は、ファース
トリテイリングのグローバル化を後押しする

現状の生産体制

世界中のどこでも「ユニクロの基準」を満たす商品を生産するために

- 年間4～5億点の生産・供給体制
- 生産管理の実績
中国 = 約9年
ベトナムを中心とした東南アジア = 約3年
- バングラデシュに生産管理事務所をオープン
2008年9月より稼働

5

バングラデシュ生産の理由

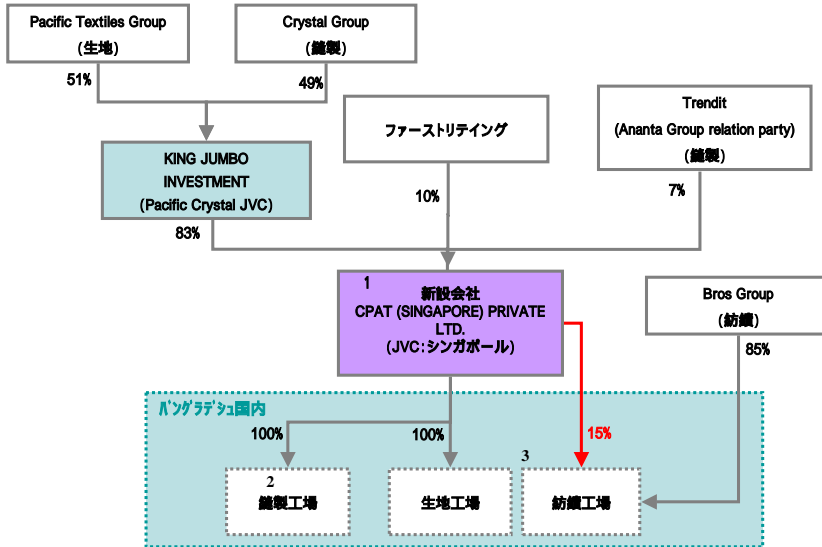
新たな生産基地となる可能性

- 繊維産業が国の主要産業であるという事実
- 繊維産業に優秀な人材が集まっている実績
- 欧米向け衣料品生産の実績

ユニクロの生産事務所設立には、バングラデシュ政府からも大きな期待が

6

合併会社設立の概要



- 1: CPAT社は2009年1月中に設立予定
- 2: 縫製工場は2009年中に稼働予定
- 3: 生地、紡織工場は、2010年中に稼働予定